

次世代自動車の活用



プラグインハイブリッド車
電気自動車
燃料電池自動車で

広がる可能性



環境に優しく、
災害に強い、
豊田市を
目指す



とよたSAKURAプロジェクト

優れた環境性能 電気走行により走行中はCO₂の排出ゼロ お得でエコなドライブを

大きな蓄電池を持っています

車載蓄電池を活用し、電気走行を行った場合、CO₂の排出はゼロです。

PHVは、充電できるHVです

プラグインハイブリッド車(PHV)は、車載蓄電池を活かし、充電と蓄電ができるハイブリッド車(HV)です。

PHVは、HVよりもさらに燃費がよく、たくさん電気を溜めることができます。

PHVに限らず、次世代自動車は従来のガソリン車に比べ、優れた環境性能と燃費性能を発揮します。

こんな取組もしています。

容量の大きな車載蓄電池を持つPHVの燃費性能は、HVと比べてどのくらい変わるのか、豊田市環境部長が実際にSAKURA色のプリウスPHVを3日間通勤に使用し、燃費の違いを試しました。

普段使用しているプリウスHVと比べ、燃費はさらに良くなり、給油量も少なく済みました。まさにお得でエコです。

乗ってみて、実感



普段乗っている車：プリウスHV
普段3日間の燃費：20.1km/ℓ



実証車両：プリウスPHV
実証3日間の燃費：26.8km/ℓ

※燃費は車載モニターに表示される数値です

CO₂排出

0 kg

電気走行、
優れた燃費性能

災害に
強いまち



次世代自動車

環境に
優しいまち

最大出力
1500W

災害時の
電力供給

災害時に活躍 クルマは非常用の電源となり、命をつなぎます。 次世代自動車の特徴を活用した外部給電機能

災害時には、生活に必要な電力を供給可能

外部給電機能を活用すると、次のような電気製品を使用できます。

一般家庭の数日分の電力の供給が可能

例えば、プリウスPHVなら1500Wで2~4日間供給可能

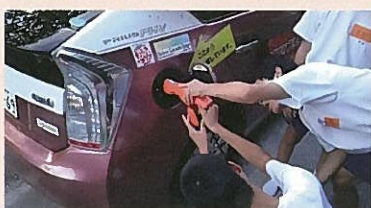
活用事例



豪雨被害を受けた常総市での外部給電活動



外部給電機能を活用して作った防災用備蓄米



災害時を想定した防災キャンプでの活用



避難所への電源供給実証



携帯電話



パソコン



照明



電気ポット



炊飯器



暖房器具

生活に必要な家電を動かすことができます

- 炊飯器で暖かいご飯が食べられます。
- 携帯電話で家族との連絡や情報収集ができます。
- 夜には照明を点灯させることができます。
- 寒い冬でも暖房器具が使えます。

豊田市の 購入補助制度



対象 次世代自動車

- プラグインハイブリッド車 (PHV)
- 電気自動車 (EV)
- 燃料電池自動車 (FCV)
- 超小型電気自動車 (超小型EV)

▶ 補助額

プラグインハイブリッド車・電気自動車

車両本体価格の税抜き 5 %
(上限 15 万円)

- 充電設備の設置に対して
上乗せ補助 (最大 5 万円)
- 外部給電設備の設置に対して
上乗せ補助 (最大 5 万円)

**最大合計補助額
25万円**



条件 エコファミリー宣言者で 豊田市在住 (1年以上)

▶ エコファミリーとは

豊田市では、環境配慮行動に取り組む「エコファミリー」を募集しています。生活の中で取り組むエコな行動を宣言していただき、エコファミリーとして登録する仕組みです。 ※詳細についてはコチラ→



燃料電池自動車

車両本体価格の税抜き 5 %
(上限 33.5 万円)

- 外部給電設備の設置に対して
上乗せ補助 (最大 5 万円)

**最大合計補助額
38.5万円**



超小型電気自動車

車両本体価格の税抜き 5 %
(上限 3.5 万円)

**最大補助額
3.5万円**



国や県の購入補助も活用

豊田市の購入補助に加え、国、県の購入補助、減税等の優遇も活用できます。

▶ 次世代自動車導入に対する優遇措置の例 (平成27年10月30日時点)

車種	メーカー希望小売価格 (税抜き)	豊田市補助金 充電設備、外部給電 設備の上乗せ補助 を含む	国補助金	エコカー減税		自動車税免税 (愛知県)	優遇総額
				重量税	取得税		
プリウスPHV (Gグレード)	3,210,429円 (2,972,619円)	最大248,000円	最大120,000円	約22,500円	約73,600円	約200,000円	最大約664,100円
アウトランダーPHEV (G Safety Package)	3,596,400円 (3,330,000円)	最大250,000円	最大290,000円	約97,000円	約30,000円	約200,000円	最大約867,000円
日産リーフ (Gグレード)	3,545,640円 (3,283,000円)	最大250,000円	最大270,000円	約22,500円	約88,600円	約200,000円	最大約831,100円
MIRAI	7,236,000円 (6,700,000円)	最大385,000円	最大2,020,000円	約30,000円	約180,900円	約200,000円	最大約2,815,900円

とよたSAKURAプロジェクトとは



普段まちなかを走る次世代自動車は「環境に優しい」、「燃費がいい」だけではなく、「走る発電機」、「走る蓄電池」でもあります。

PHV・HVのように車載蓄電池を持つ車種は、クルマから電気を取り出すことができ、家電や照明などの電力になります。災害が起こり、電気の供給が断たれた時でも、蓄電池＝クルマから電力を取り出すことで温かい食事をとることができ、辺りが暗くなっても照明をつけることができるのです。豊田市はこうした環境性能にも防災性能にも優れたクルマを広めることで、環境に優しく、災害にも強いまちを目指します。

それが「とよたSAKURAプロジェクト」です。

とよたSAKURAプロジェクトの主な取組

2015年5月にトヨタ自動車株式会社から寄贈された世界に1台しかないSAKURA色のプリウスPHVを活用し、様々なPRをしています。

災害を想定した外部給電機能の活用、普及啓発



防災キャンプにてSAKURAプリウスの電気で照明を点灯



イベントでの外部給電機能の活用



納車式の様子



スマートハウスとつながるクルマの展示(エコフルタウンでのPR)

市の率先行動



SAKURA色のTシャツ、ジャンパーを着てPR!



公用車へのPHVの率先導入

補助制度による普及促進

PHV・EV／最大25万円

(充電設備、外部給電設備の上乗せ補助を含む)

FCV／最大38.5万円(外部給電設備の上乗せ補助を含む)

超小型EV／最大3.5万円

※詳しくは内面をご覧ください。

問合せ

とよたSAKURAプロジェクト全般、補助制度に関する問合せ

豊田市環境政策課

TEL 0565-34-6650 FAX 0565-34-6759

防災関連に関する問合せ

豊田市防災対策課

TEL 0565-34-6750 FAX 0565-34-6048

とよたエコフルタウンに関する問合せ

豊田市環境モデル都市
推進課

TEL 0565-34-6982 FAX 0565-34-6993